



お申し込みはJMAマネジメントスクールWEBサイトから

お申し込みにあたり

<https://school.jma.or.jp/>

第四次産業革命スキル習得講座である本講座は厚生労働省の「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座にもなっております。一定の要件を満たした受講者に、**支払った教育訓練経費の50%または70%が支給される制度です。**

※この手続きは、受講開始日の**1カ月前まで**に行う必要があります。制度や手続きについては以下ページをご参照ください。

■制度の概要について:教育訓練給付制度(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

■手続きや申請について:ハローワークインターネットサービス

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

参加料 (消費税込)

一般社団法人日本能率協会法人会員	10回講座 550,000円／1名
会員外	10回講座 627,000円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。

※法人会員ご入会の有無につきましては、右記ページにてご確認ください。 <https://www.jma.or.jp/membership/>

※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのWebページに掲載しておりますので、ご確認、同意のうえお申し込みください。

キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので予めご了承ください。

初回開催30日前～8日前(開催初日を含まず起算):参加料の10%

初回開催7日前～前日(開催初日を含まず起算):参加料の50%

初回開催日当日:参加料の全額

(万が一キャンセルの場合は必ずメールまたはファックスでご連絡ください。)

参加定員

※定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

40名(参加人数が12名に満たない場合は開催を中止する場合がございます。)

参加方法

オンライン研修 (ZOOMを使用して配信いたします)

・初めてZoomを利用される場合は事前にZOOMをインストールの上ご準備ください。インストールは無料です。

・お申込みの方には、受講用URLと参加要領を後日ご連絡させていただきます。

・1申込につき1名様をご受講ください。

留意事項・備考

・本講座の修了認定基準は次の通りです。

①出席率は70%以上の時間とする

②演習の発表内容及び事例演習の成果物の審査、総合演習による修了テストにおいて合格基準に到達する

・研修最終日(受講後)から30日間、メールでの質問が可能です

プログラム内容に関する問い合わせ先 (企画担当)

経営・人材革新センター TEL:03(3434)1955(直通) 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

申込に関する問い合わせ先 (参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)

JMAマネジメントスクール TEL:03(3434)6271

電話受付時間 月～金曜日9:00～17:00 ただし祝日を除く

メール: seminar@jma.or.jp FAX:03(3434)5505



経済産業省 第四次産業革命スキル習得講座

2023年11月～2024年2月開催

IoT/AI人材育成講座

参加募集のご案内



本講座の特色

- IoT(Internet of Things)/AI(人工知能)技術を生かして、製造現場等の業務の生産性を向上させます。
- 組織横断で事業所内の課題を分析し、課題解決のためにIoT技術導入を推進していく人材を育成します。
- 講義や他企業とのグループディスカッションを通じて実践的なスキルを獲得できるプログラムです。

【経済産業省 第四次産業革命スキル習得講座認定制度】

■当講座は第四次産業革命スキル習得講座に認定されました。

「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」(通称:Reスキル講座)は、IT・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けてキャリアアップを図る、専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する制度です。

想定受講者と受講のメリット

想定受講者・各部署の課題感

製造部門

- 製造現場・設備設計に関するベテランの技術伝承が進まない
- 設備機器劣化、故障による異常が増えており、危険を感じる
- 最新のIoT技術を活用して生産性を向上させたい

製造設備機器の保全部門

- 本社からIoTやAIなどの技術による事故、故障対策の提案を求められているが、IoT、AIに関する知識や情報が豊富でない
- IoT技術は現場に持ち込めないものが多く、すぐには着手することができない

電気設備・管理・設計リーダー

- 本社からIoTやAIの技術を導入して事故や故障対策の提案を求められているが、IoTの実績がなく、何から手を付けたら良いか悩んでいる
- 製造部門、保全部門との連携が必要だが議論する共通基盤がない

受講を通じて



- IoT技術の全体像を認識できる
- 各IoT要素技術の実力を認識する
- ディスカッションを通じて新たな気づきを得る
- 自社製造現場等へのIoT技術導入に関する判断が可能になる
- IoT技術を導入・実装し、運用する組織能力が高まる

受講後の展開イメージ



社内で組織横断型のIoT導入推進チームを発足
(議論する共通基盤の確立)

- 組織横断で事業所内の危険箇所や危険事象を分析する
- IoT、AIの適用可能性を検討する
- 試験的導入、実証トライアルを実施する
- 本格導入の企画・提言を行う

担当講師（予定）

合同会社コンサルンス 代表 中小企業診断士 高安 篤史 他

2023年度開催予定

(2023年4月17日 現在)

各回10:00～17:00（予定）

- * テーマに応じて、講義・演習等を組み合わせた内容となります。
- * 以下内容は現状の予定であり、変更となる場合がございます。

テーマ	開催日	内容
IoT基本習得研修 2023年		
IoTの基礎	11月7日(火)	IoTの基礎、リスク基礎、標準化/推進団体/法規、スマート技術
IoT関連技術	11月20日(月)	技術要素（センサー、アクチュエータ、通信、セキュリティ基礎）
データ分析/AI技術	11月27日(月)	技術要素（データ分析、AI、解析手法、プラットフォーム）
リスクマネジメント力向上 2023年		
安全マネジメントとIoT	12月4日(月)	事象事例、リスク分析手法、リスク分析手法の応用、IoTセキュリティと問題事例
IoTによる安全マネジメント応用	12月11日(月)	製造現場等におけるセキュリティ、制御システム・設備保全（故障診断/異常確認）、新規収集データと予兆検知
IoT/AIによる現場力向上 2024年		
プロセス設計とIoT	1月10日(水)	保安4法/防爆/IoT関連法規/データ利用契約、製造現場におけるデータ種類、センサー技術とセンサー機、PA用ネットワーク、要素技術の活用
プロセス設計におけるIoT活用応用	1月17日(水)	制御の高度化/情報の高度処理（状態記録の効率化と技能伝承）、システムと安全（ツールの活用）、IoT/AIによるリスク低減
IoT・システム活用力向上 2024年		
IoT技術研修（デバイス/通信/クラウド）	1月25日(木)	デバイスとIoTスタートキット、IoT通信、クラウドの活用、IoTプラットフォーム
IoT技術研修（データ分析）	2月8日(木)	データ分析の基礎、データ分析環境、データベース技術、機械学習
IoT技術研修（人工知能）	2月20日(火)	ディープラーニング、解析手法の選択、Python、TensorFlow、AIプラットフォーム